

平成 年 月 日

アクアトップ F カラークリヤー艶消白
(一液常乾型フッ素樹脂塗料)

施 工 手 順 書

－打放しコンクリート濡れ肌防止工法－

工 事 名 称
所 在 地
設 計 ・ 監 理
請 負 会 社
施 工 会 社

大同塗料株式会社

本社 〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号
TEL. 06-6308-6288 FAX. 06-6308-3618

施工手順書

1. 適用

1-1. 本施工手順書は _____
工事へのアクアトップ F カラークリヤー艶消白の施工手順書として適用する。

1-2. 本書の適用においてメーカーのカタログや技術資料を参照する。

2. 施工上の注意事項

2-1. 材料の取り扱い

1) 火気に注意し、爆発、火炎等の事故を起こさないようにする。また塗材を拭き取った布、塗材の付着した布片等は速やかに密閉できる空容器に回収してください。

2) メーカーの指示に従い適正な取り扱いを行う。

2-2. 気象条件

1) 温度の影響

気温が 5℃以下の時は施工しないこと。また、日中に気温が上がっても夕暮れから急に気温が低下する場合や、夜間に冷え切った下地が日中になっても温まらない場合がある。性能不良等の原因となるので施工にあたっては十分注意する。

2) 風の影響

風速 5 m/秒以上の場合は施工を中止する。特にこれが低温の場合は注意が必要である。風のため気温より壁面温度が一層低くなる。風の影響をなくすためシートを掛けることを心がける。また高層の場合、地上よりまして風速が加わるので注意する。

3) 雨の影響

塗布した塗材が未乾燥のうちに雨にあたると流出してしまう。施工時はもちろんのこと、施工終了後の気象状況にも配慮することが大切である。また施工前に降雨があった場合には、下地に水分が残り、高い含水率を示すことがある。下地が十分に乾燥したのを確認してから施工に入るようにする。

4) 湿度の影響

湿度の高い（85%以上）日に塗装を行う場合は、乾燥が非常に遅く作業性が悪くなる。できるだけ通風を良くする。

2-3. 施工条件の管理

- 1) 本施工に入る前に必ず試験塗装を行い、現場管理者の承認を得るようにする。下地の差などからくる提出見本との微妙な相違点は予め承認を得ておくことが大切である。
- 2) 塗材の塗布量が標準塗布量より少なくなると、吸水防止効果のムラ発生の原因となる。塗布量は、平らな面に実際付着させる塗材の標準量とする。
- 3) 足場板の影の部分は、足場ムラが出やすいので細心の注意を払い、足場を外す前に必ず検査をして、ムラがある場合は補修をする。
- 4) 塗装を行う場所は換気に注意して、溶剤による中毒を起こさないようにする。
- 5) 本製品は、石油・シンナー臭がします。施工にあたっては周辺環境にも留意してください。特に近隣の居住者には事前の説明および了承を得るようにしてください。

2-4 養生

- 1) 養生は汚れ防止のため入念に行う。特に非塗布面に誤って付着した時は、迅速に拭き取る必要がある。何よりも施工時に十分に気をつけることが大切である。
- 2) 望ましくは、捨てテープ法を用いる。捨てテープは吹き付け後 1 時間以内にゆるやかに取り除く。
- 3) 養生材：ポリフィルム、クラフト紙、新聞紙などを粘着テープにて接着する。接着剤付きの養生材は粘着テープが不要である。
- 4) 注意点：施工面とテープとの境目が蛇行しないように行う。また、風等により簡単に剥がれないようにする。

2-5. 塗装面の保護

- 1) 塗材が所定の性能に達するまでの期間は、物との接触、水または油等から保護するため適正な養生を施す。

2-6. 完了検査・手直し

- 1) 完了した塗布面について水かけテストを行い、撥水状態と 30 秒から 1 分以内に濡れ色が出ない事を確認する。塗布もれのところは乾燥後手直しを行う。

3. 施工手順

[アクアトップ F カラークリヤー艶消白 打放しコンクリート面]

3-1. 下地処理

- 1) 打放しコンクリート面は、含水率 6 %以下になるまで十分に乾燥してください。
(基材内部まで十分乾燥させる。)
- 2) 下地表面に付着した汚れ、粉化物、さび等は除去し、離型剤油脂類などが付着している場合は、ラッカーシンナー・各種工具等で除去してください。また水洗する場合は十分に乾燥する。
- 3) 下地に残留する金属類（鉄筋、セパレーター、番線、釘等）は除去する。
- 4) 型枠の不陸、目違い、ピンホール、欠損等はモルタル補修材で処理してください。（目地モルタルメーカー、補修材メーカーの標準養生期間を厳守してください）0. 3mm以上のクラック、ピンホールは必ず確実に補修する。

3-2. アクアシール 200S の塗布

- 1) アクアシール 200S は無稀釈のまま塗布する。
- 2) アクアシール 200S は乾燥すると塗布部と未塗布との差がわからなくなりしますので塗りもれのないように注意する。
- 3) アクアシール 200S の塗布量は 2 回塗りで 0. 20～0. 24 L/m² とし、指定数量を確実に塗布する。塗布方法は原則としてローラー、刷毛で施工する。
- 4) アクアシール 200S 塗布面は 20℃、6 時間の乾燥養生をする。溶剤が完全に気化する前に塗布面が水分に触れることは避ける。
- 5) 養生時間の目安
 - ・ 20℃ 6 時間以上
 - ・ 10℃ 24 時間以上
 - ・ 5℃ 48 時間以上
- 6) アクアシール 200S が処理面以外に付着した場合、速やかにシンナー等で拭き取ってください。20℃で約 3 時間を経過すると全く除去できませんので注意してください。

3-3. アクアトップ F カラークリヤー艶消白の塗布

- 1) アクアトップ F カラークリヤー艶消白は一液型フッ素樹脂系塗料です
- 2) アクアトップ F カラークリヤー艶消白の塗布量は2回で0. 20～0. 24 kg/m²としスプレーにて均一に塗布してください。特に、膜厚により大きく色調が変わりますので、一度に厚塗りせず、色調を見ながらタレのないよう塗布量の微調整を行ってください。
- 3) 1回目の塗膜は20℃で約30分で乾燥します。その後、2回目を塗布してください。2回目はタレやすいので注意してください。
- 4) 仕上げの塗装後20℃で3時間以上の養生が必要です。
- 5) シーリング用の目地は養生し、塗料は付着しないように工夫してください。シーリング材の上にはアクアトップ F カラークリヤー艶消白の塗膜が付着しない場合がありますので、注意してください。
- 6) アクアトップ F カラークリヤー艶消白が処理面以外に付着した場合、速やかにアクアトップ F シンナー等で拭き取ってください。